

8. 指定障害福祉サービス事業

(1) 気仙沼市 松峰園

【概要】障害者総合支援法及び気仙沼市障害者通所施設条例並びに指定管理基本協定に基づき、気仙沼市に居住する知的障害のある方を対象に、指定就労移行支援事業及び指定就労継続B型事業サービスを適切に提供し、地域の障害者の自立支援に努めました。

【事業実績】

月	就労移行在籍者数 就労継続支援B型在籍者数	開所日数	当月入所者数 当月入所者数	当月退所者数 当月退所者数	利用延人数 利用延人数	平均利用者数 平均利用者数
4	2 43	20 20	1 1	0 0	37 744	1.9 37.2
5	2 42	21 21	0 0	0 1	37 752	1.8 35.8
6	2 43	21 21	0 1	0 0	30 705	1.4 33.6
7	2 43	20 20	0 0	0 0	26 746	1.3 37.3
8	2 41	18 18	0 0	0 2	26 659	1.4 36.6
9	2 41	18 18	0 0	0 0	19 657	1.1 36.5
10	2 41	21 21	0 0	0 0	33 751	1.6 35.8
11	2 41	21 21	0 0	0 0	33 740	1.6 35.2
12	2 41	19 19	0 0	0 0	30 704	1.6 37.1
1	2 41	19 19	0 0	0 0	24 679	1.3 35.7
2	2 41	19 19	0 0	0 0	33 674	1.7 35.5
3	2 41	20 20	0 0	0 1	30 707	1.5 35.4
計	24 499	237 237	1 2	0 4	358 8,518	1.5 36.0

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成30年5月21日	就労支援連絡会	やすらぎ
5月21日	職員研修会	第二高松園
6月28日	就労支援スタッフ会議	やすらぎ
8月20日	障害福祉サービス事業者等集団指導	気仙沼保健福祉事務所
8月23, 24日	障害者相談支援事業初任者研修	宮城県庁
9月6日	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	仙台アエル
9月21日	就労支援基礎研修	宮城県障害者福祉センター
9月21日	就労支援連絡会	市ワントン庁舎
10月18日	就労支援スタッフ会議	ハローワーク
11月8日	精神障害者就労セミナー	気仙沼合同庁舎
12月10日	権利擁護研修	やすらぎ
12月25, 6日	サービス管理責任者研修	宮城県民会館
2月28日	障害者福祉施設関係者等職員研修	宮城県障害者福祉センター
3月22日	障害福祉サービス事業者等集団指導	宮城県庁

【成果】生産活動に関しては、鹿折ふれあいセンターの日常清掃業務を受注し、増収を図りました。また、新しい取り組みとして牧沢地区周辺の地域清掃活動を利用者と職員で行ないました。

工賃の平均月額9,415円

【課題】

新しい就労系の事業所が他にも開設され利用者が分散傾向にあります。本施設を選択してもらうためのPRや新しい生産活動の取り組みを展開する等の工夫が求められています。

【今後の取組】かねてより計画していた菓子製造班の作業場を新たに整備し生産量を増やし収入の増加に繋がるよう努めます。

【決算】事業活動による収支 収入66,110,850円 支出72,457,934円 差額-6,347,084円
 その他の活動による収支 収入3,000,000円 支出2,434,284円 差額 565,716円
 収支差額-5,767,149円

(2) 気仙沼市みのりの園

【概要】障害があっても地域で安心して生活できる施設の存在と利用者の意思や個性を尊重し、家庭と連携を図りながら、生活の質の向上と障害者の自立に向けたサービスの提供に努めました。

【事業実績】

月	在籍者数	開所日数	当月入所者数	当月退所者数	利用延人数	平均利用者数
4	36	20	1	0	561	28.1
5	36	21	0	0	611	29.1
6	36	21	0	0	615	29.3
7	36	21	0	0	568	27.0
8	36	20	0	0	533	26.7
9	36	18	0	0	520	28.9
10	36	22	0	0	627	28.5
11	35	21	0	1	621	29.6
12	35	19	0	0	563	29.6
1	35	19	0	0	537	28.3
2	35	19	0	0	539	28.4
3	35	20	0	0	575	28.8
合計		241	1	1	6,870	28.5
前年度		242	3	1	6,609	27.3

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成30年5月23日	みのりの園家族会総会・研修会	本吉保健福祉センターいこい
6月25日	自衛消防訓練（火災想定）	みのりの園
6月29日	県指定障害福祉施設集団指導	仙台市 宮城県庁
7月30日	市担当課現状報告会議	社協本所
8月3日	安全運転管理者講習	中央自動車学校
9月6日	福祉サービスの苦情に関する研修会	仙台市アエル
9月27日	障害者虐待防止法に関する研修	みのりの園
10月12日	みのりの園家族会懇談会・研修会	本吉公民館
12月10日	気仙沼市権利擁護研修会	市民福祉センターやすらぎ
12月13日	障害者ケア向上研修会	大河原合同庁舎
平成31年2月1日	地域リハビリテーション推進研修会	気仙沼保健福祉事務所

【成果】高等支援学校卒業後の地域の受け皿として、また、地域に暮らす障害者や家族の要望に応えながら施設利用を受入れました。利用者の特性に応じて、重度者や高齢期の利用者への個別対応を図り、サービスの質向上に努め、利用者の安定的な利用に繋がりました。

利用者と地域住民との交流を目的として、スポーツとふれあいのつどいを開催し、スポーツや会食を通じて地域住民とコミュニケーションを図り、さらには作品展示など文化的催しも実施し、施設活動の周知に努めました。今年度も本吉保健福祉センター清掃活動や本吉地域福祉まつりでの民謡発表を継続し、地域で生活する障害者の生活意欲の向上と自立支援への働き掛けを行いました。

（平成30年度 障害福祉サービス等事業収入目標達成度 106% 前年度113%）

【課題】施設利用者の重度化に伴い個別化が重視され、限られた生活空間のなかでも個室等の整備が求められています。利用者が互いに認め合い、共に育む適切な生活環境の整備が課題となります。

また、利用者の高齢化が見込まれることから、本会の介護保険サービス事業所との連携を図り、必要なサービス等を提案し、利用者や家族が安心して地域で暮らし続けられるよう支援が必要です。

【今後の取組】個別化への配慮として施設環境を整備することで、利用者が安心して落ち着いた状態で継続利用となるように取り組みます。また、今後も地域住民とふれ合う機会をもち、障害者が地域の一員として地域社会で安心した生活を送れるよう支援します。なお、施設運営に関しては、経営的視点をもって運営してまいります。

【決算】事業活動収入 55,959,928円

事業活動支出 42,222,772円

その他の活動支出 12,080,298円

当期資金収支差額 1,656,858円

（基金への繰出10,000,000円を含む。）

（前期末支払資金から充当）

(3) 気仙沼市マザーズホーム

【概要】児童福祉法及び気仙沼市障害児通所支援施設条例並びに指定管理基本協定に基づき、気仙沼市及び近隣に居住する障害児及び保護者の方々を対象に、児童発達支援及び放課後等デイサービスを適切に提供し、日常生活の基本動作や集団生活への適応力の向上及び保護者の養護負担の軽減や精神的安定の向上に努めました。

【事業実績】

月	児童発達支援発達支援 放課後等デイ	開 所 日 数 開 所 日 数	当月入所者数 当月入所者数	当月退所者数 当月退所者数	利用延人数 利用延人数	平均利用者数 平均利用者数
4	13	20	3	1	102	5.1
	20	24	7	0	168	7.0
5	14	20	1	0	119	5.7
	20	24	0	0	189	7.9
6	14	21	0	0	107	5.1
	20	26	0	0	215	8.3
7	16	21	2	0	129	6.1
	21	25	1	0	202	8.1
8	17	22	1	0	90	4.1
	21	26	0	0	159	6.1
9	17	18	0	0	114	6.3
	21	23	0	0	182	7.9
10	17	22	0	0	132	6.0
	21	26	0	0	192	7.4
11	17	21	0	0	123	5.9
	21	24	0	0	183	7.6
12	17	19	0	0	118	6.2
	21	23	0	0	161	7.0
1	18	19	1	0	94	4.9
	21	23	0	0	156	6.8
2	18	20	0	0	106	5.3
	21	23	0	0	166	7.2
3	18	19	0	6	100	5.3
	21	25	0	0	160	6.4
計	196	242	8	7	1,334	5.5
	249	292	8	0	2,133	7.3

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成30年5月10日	第1回 特別支援教育推進委員会	気仙沼市教育委員会
5月18日	宮城県障害児通園施設連絡協議会施設長研修会	仙台市たんぽぽホーム
5月29日	H30年度高等部進路ガイダンス	気仙沼市教育委員会
5月31日	第1回 特別支援教育コーディネーター協議会	気仙沼市教育委員会
6月11日	第1回気仙沼市教育支援委員会	気仙沼市教育委員会
6月21日・22日	H30年度就学相談に係るケース会議	気仙沼市教育委員会
6月22日	子育てで苦労した事頑張った事	気仙沼市マザーズホーム
6月29日	H30年度第1回指定障害福祉サービス集団指導	宮城県庁
7月5日	障害者フォーラム	市民福祉センターやすらぎ
7月13日	ダウン症の知的機能の特徴	福寿荘
7月14日	発達を支援するコミュニケーションの手段	市民福祉センターやすらぎ
7月27日	インクルーシブ理解研修	南三陸町総合体育館
8月1日	気になる子どもの理解と対応	気仙沼市保健福祉事務所
8月2日	楽しく学校生活を送るために	福寿荘
8月30日	H30年度指定障害福祉サービス集団指導	気仙沼市保健福祉事務所
9月5日	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	仙台市アエル

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
9月13日	施設見学 発達障害のある子どもの家族支援で知っておきたいこと	おもちゃ箱とめ 仙台市復興記念館
9月14日	第2回気仙沼市教育支援委員会	気仙沼市教育委員会
10月4日	第3回気仙沼市教育支援委員会	気仙沼市教育委員会
10月18日・19日	H30年度強度行動障害支援者養成研修	栗原市エポカ21
10月20日・21日	発達支援通園事業全国大会	秋田市文化会館
11月1日・2日	H30年度強度行動障害支援者養成研修	栗原市エポカ21
11月15日	第4回気仙沼市教育支援委員会	気仙沼市教育委員会
11月28日	特別支援に係る研修会	気仙沼支援学校
12月10日	権利擁護研修会	市民福祉センターやすらぎ
平成31年1月23日	施設見学	多機能型施設アップル
1月29日	子どもの発達支援について	気仙沼市マザーズホーム
2月1日	障害を持つ子どもたちの支援体制を考える	気仙沼市保健福祉事務所
2月7日	障害のある人もない人も共生する社会作り	気仙沼市保健福祉事務所
2月7日	聴覚の発達支援	市民福祉センターやすらぎ
2月19日	遊びの発達段階について	気仙沼市マザーズホーム
3月16日	音楽における発達支援	市民福祉センターやすらぎ
3月22日	サビ官・児童発達支援管理責任者情報交換	宮城県庁

【成果】児童発達支援事業においては、気仙沼市健康管理センターすこやかににおいて発達の気になるお子さんを対象とした「遊びの会」に参加することにより、保健師・保護者の方と顔の見える繋がりをもつ事ができ、マザーズの利用へとつながりました。関係者会議においては、幼稚園・保育所等は定期的な開催ができ、定例化されてきましたが、小学校、中学校においては、開催が難しいものの、小学1年生、中学1年生に関しては、関係者会議が定例化しつつあります。

今後の保育所等訪問支援事業の基礎になる準備としての成果はあったと思われます。

【課題】児童発達支援事業での利用形態が様々になり、適切な支援が求められるようになってきました。適切な支援を行うため、一層職員の資質の向上を図ることが求められています。

放課後等デイサービス事業では、各学校へ同時刻での送迎が増え、支援車両を増やし、児童発達支援事業の職員も送迎時に加わる事で対応しています。

各事業所で職員体制を整えていましたが、定員の増員・利用回数の増加に伴い、更なる体制整備が必要です。

【今後の取組】利用形態の変化に伴い、職員間での情報共有を図り、個々に合ったサービスの提供が求められています。また、保護者支援のあり方も多様化していくと思われますので、今まで以上に、各関係機関との連携を図りながらご家族に寄り添った療育に柔軟に取り組めます。

【決算】事業活動収入 32,583,910 円
その他の活動収入 647,920 円

事業活動支出 28,886,238 円
その他の活動支出 975,552 円
当期資金収支差額 3,370,040 円

(4) 指定特定相談支援事業（松峰園相談支援センター）

【概要】障害者総合支援法に基づき、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者の心身の状況に応じて、適切な福祉サービスが総合的かつ効果的に提供されるよう指定計画相談支援の提供しました。

【事業実績】	
月	作成者数
4	7
5	4
6	19
7	3
8	3
9	4
10	1
11	4
12	18
1	3
2	4
3	
計	70

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
4月23日	社協内情報共有会議	本所
5月28日	社協内情報共有会議	本所
6月25日	社協内情報共有会議	本所
7月30日	社協内情報共有会議	本所
8月23, 24日	障害者相談支援従事者初任者研修	本所
8月27日	社協内情報共有会議	本所
10月29日	社協内情報共有会議	本所
11月21日	相談支援連絡会	やすらぎ
11月27日	社協内情報共有会議	本所
1月21, 2月20, 27日	相談支援従事者現任研修	本所
3月6日	相談支援連絡会	やすらぎ
3月25日	社協内情報共有会議	本所

【成果】気仙沼市から依頼を受け、延べ70名のモニタリングと計画作成を行い適切なサービス提供に結びつけました。気仙沼市や他の事業所と連絡調整を行い連携機能を高めました。

【課題】家族の高齢化に伴い、他の福祉サービスに繋げるような支援が必要です。

職員が兼務で計画作成を行っており、今後改善が必要です。

【今後の取組】気仙沼市、他事業所との連携を密にし、新しい社会資源の開拓をしながら適切な計画相談支援を行っていきます。

【決算】事業活動収入 1,586,980円 事業活動支出 1,395,187円
当期資金収支差額191,793円

(5) 指定共同生活援助事業（グループホーム「つばさ」）

【概要】 障害者総合支援法に基づき、利用者の自立と社会経済活動への参加を促進するため、地域で共同して日常生活を円滑に営むことができるよう、利用者の心身の状況に応じて、日常生活の援助を適切に行いました。

【事業実績】

月	在籍者数	開 所 日 数	当月入所者数	当月退所者数	利用延人数	平均利用者数
4	4	20	0	0	79	4.0
5	4	20	0	0	80	4.0
6	4	20	0	0	80	4.0
7	4	21	0	0	84	4.0
8	4	22	0	0	82	3.7
9	4	19	0	0	76	4.0
10	4	20	0	0	76	3.8
11	4	11	0	0	83	7.5
12	4	19	0	0	76	4.0
1	4	18	0	0	72	4.0
2	4	20	0	0	80	4.0
3	4	21	0	0	86	4.1
計	44	212	0	0	878	4.1

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修等	開催場所
5月23日	余暇活動支援、ボーリング	市内
7月30日	健康診断受診支援	市内
8月18日	避難訓練、余暇活動支援	ホーム内
9月6日	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	仙台
9月22日	除草作業、昼食支援	ホーム内
10月17日	健康診断受診支援	市内
11月2日	買物支援	市内
11月14日	誕生会	ホーム内
2月23日	余暇活動支援（新年会）	市内
3月6日	余暇活動支援（ひな祭り会）	市内

【成果】 グループホーム再開から5年目に入り、利用者も地域生活に溶け込み、家族不在時にもホームを利用することができ、保護者から喜ばれました。

【課題】 世話人が1名不足しており、松峰園の支援員が支援していることから、早急に体制を整える必要があります。

【今後の取組】 利用者のニーズを調査しながら男子の共同生活住居を立ち上げます。

【決算】 事業活動による収支 収入5,126,232円 支出7,074,019円 差額-1,947,787円

9. 居宅介護事業

【概要】障害者総合支援法に基づき、障害をもった方が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、関係機関との連携を密にし、心身の特性を踏まえたきめ細やかな居宅介護計画によるサービス提供に努めました。

(1) 気仙沼市ホームヘルプサービス事業所

【事業実績】

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
利用	人	5	5	5	5	5	6	6	6	7	8	7	6	71	53
	回	51	64	51	60	66	52	65	57	87	76	59	52	740	585

【成果】障害をもった利用者が、その有する能力に応じ自立した日常生活を営めることができるよう、利用者の心身の特性を踏まえたきめ細やかな居宅介護計画を策定し、適正なサービスの提供に努めました。

(介護報酬目標額達成率 111.3% 前年度 119.8%)

【課題】研修計画に沿った受講ができるよう、職員体制の整備が必要です。

【今後の取組】従業者の人材確保に鋭意努力し、事業所の安定経営に努めます。

【決算】事業活動収入 2,953,060 円 事業活動支出 2,395,272 円 当期資金収支差額 557,788 円

(2) 訪問介護ステーションからくわ

【事業実績】

居宅介護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年
人	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	70	62
回	23	25	24	27	23	25	28	26	27	28	20	20	296	251

同行援護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年
人	3	3	2	3	2	2	3	3	3	4	2	3	33	23
回	23	20	17	22	21	21	22	22	22	21	19	24	254	121

【成果】利用者と家族の意向を尊重し、支援計画に沿ったサービスの提供を行いました。また、利用者の状態把握に努め、各関係機関と連携を図り、迅速に対応できました。同行援護の利用も増加傾向にあり、収入増に繋がりました。

(介護報酬目標額達成率<居宅介護> 114% 前年度 95%)

(介護報酬目標額達成率<同行援護> 163% 前年度 306%)

【課題】利用休止状態が続いている利用者には、障害者生活支援センターと連携し、利用再開の対応に努めています。

【今後の取組】住み慣れた地域で自立した生活を営むことができるように、利用者の立場に立ったサービス提供に努めます。各関係機関と連携を密にし、事故防止対策と緊急時の対応が迅速にできる体制づくりを図ります。また、各種研修に積極的に参加し、職員間での情報共有にも取り組みます。

【決算】事業活動収入 2,538,142 円（居宅介護・1,200,330 円、同行援護・1,337,812 円）
 事業活動支出 1,291,680 円（居宅介護・904,990 円、同行援護・386,690 円）
 当期資金収支差額 1,246,462 円（居宅介護・295,340 円、同行援護・951,122 円）

（３）ヘルパーステーションもとよし

【事業実績】

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
利用	人	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48	53
	回	219	222	220	217	222	219	216	220	218	220	205	222	2620	2651

【成果】思いやりの気持ちを忘れずに、利用者とのコミュニケーションを大事にしながら、障害を持った方の心身の特性と能力を踏まえた自立生活支援に努めました。また、訪問時一人暮らしの方の体調の異変に気づき医療に繋げることができ、退院後も自宅で過ごすことができるほど快復しました。今後も総合的に支援できる体制づくりに取り組みます。

（介護報酬目標額達成率 103.5% 前年度 100.3%）

【課題】職員の平均年齢の上昇に伴い、ヘルパー育成を含めた提供体制の再構築及び中途障害の方とのコミュニケーションが課題となっています。また、利用者の８割が独居世帯なので地域連携も不可欠です。利用者本人の意思でキャンセルされることで、サービス提供に繋がらない方もあり、家族や支援センターと今後も連携を取りながら、支援に努めます。

【今後の取組】住み慣れた我が家で自分らしく暮らしていきたいという利用者と家族の願いの実現に向けた居宅介護サービス提供体制を確立し、一人ひとりのニーズに合わせた丁寧なサービス提供ができるように、引き続きコミュニケーションを図ります。また、同行援護の研修に参加し、新たなサービス提供ができるように取り組みます。

【決算】事業活動収入 9,790,784 円 事業活動支出 9,790,784 円 当期資金収支差額 0 円

【概要】障害者総合支援法に基づく気仙沼市障害者地域生活支援事業実施規則に則り、重度の障害を持つ方への移動入浴車による入浴サービスを提供しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年
人	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1 2	1 2
回	8	8	8	8	7	8	8	9	8	8	8	9	9 7	8 4

【決算】事業活動収入	1,212,500 円	事業活動支出	1,057,458 円
		当期資金収支差額	155,042 円

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
利用	人	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	12
	回	4	5	4	4	5	4	5	4	4	5	4	4	52	50

【決算】 事業活動収入 650,000 円 事業活動支出 650,000 円 当期資金収支差額 0 円

11. 在宅福祉事業

事業名	内 容
移送サービス事業	【概要】 家庭外への移動困難者について、リフト付ワゴン車の運行による移送や車両の貸出を行うことで社会生活への参加促進を図りました。 【実績】 移送利用：0件 貸出利用：25件 (前年度 移送利用：0件 貸出利用：16件) 【成果】 入退院のため利用した方のほか、市内・市外への定期的な通院のための利用ができました 【課題】 移送利用がなく、運転ボランティアの必要はなかったものの、移送利用に対応出来るよう、人材の確保が必要です。 【今後の取組】 現行どおり事業の実施をしながら、社協だよりやホームページで運転ボランティアの募集を行います。 【決算】 301,610 円
在宅ふれあい型交流事業	【概要】 虚弱な一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯との交流を対象にふれあい型の食事サービス・お茶のみ会等へ補助金を交付しました。地域や季節によって、配食と会食の形態があります。 【実績】 利用者延べ：1,607人 【成果】 ボランティア団体と地域高齢者等の交流の一助をなっています。また、会食は、高齢者等の社会参加の場となっています。 【課題】 配食や会食を定期的実施することが難しい団体に関しては、活動場所の確保が困難なことが考えられます。 【今後の取組】 自治会単位でも高齢者等への交流型支援事業を実施する団体が増えるよう広く周知するとともに、情報提供等の側面的な支援を行います。 【決算】 565,196 円
安否確認訪問サービス事業	【概要】 大船渡ヤクルト販売(株)さんらいずセンターの協力を得て、常に見守りを必要とする世帯に対し、乳酸菌飲料の週3回(月・水・金)配達を通じての声掛け訪問による安否確認を実施しました。 【実績】 利用者：27人 利用延本数：2,267本 【成果】 緊急対応となるケースはありませんでした。昨年より配達可能となった大島地域から1件2人の申請がありサービスの利用を開始しました。また、利用者不在時の業者からの連絡が以前よりも迅速に入るようになりました。 【課題】 利用者不在時の業者からの連絡が以前よりも入るようになったものの、まだタイムラグが生じている部分があるので、引き続き不在時対応、連絡方法について話し合いを行いながら進めます。 【今後の取組】 サービスの周知を定期的に行い、業者と連携を図りながら実施します。 【決算】 59,917 円
介護機器・福祉用具貸出事業	【概要】 所有する福祉用具の貸し出しにより、要介護にある方の在宅生

	活を支援するとともに、ボランティア活動や福祉教育活動の積極的な企画や参加を促進しました。 【実績】 延べ貸出数 気仙沼 車いす16台 ベッド 0台 本吉 車いす14台 ベッド 4台 【成果】小中学校で行なわれる福祉教育活動や防災訓練等の学習に活用されたほか、個人への貸し出しにより、在宅生活の一助となりました。 【課題】貸出用具として介護用電動・手動ベッド、ベッドマットレスとありますが、本吉支所以外は東日本大震災で物品の一切を流失しており、車椅子以外の上記物品については、現在は貸し出せる状態にありません。貸出用具の見直しが必要です。 【今後の取組】今後も継続しながら、事業内容の見直しを行います。 【決算】15,000 円
--	---

12. 指定介護保険事業

(1) 一景島在宅介護支援センター

【概要】利用者が、その人らしく安心して日常生活を維持できるように、利用者の立場に立ち一連のケアマネジメントプロセスに基づいた適切なサービス提供の充実強化に努めました。また、主任介護支援専門員配置等による加算取得に当っては、法令遵守の相互チェックにより介護報酬の適正請求を実施しました。

【事業実績】

月	事業対象者	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計	
4	人	1	7	21	29	13	8	6	12	6	45	74
5	人	1	7	20	28	13	7	7	11	6	44	72
6	人	1	8	19	28	13	6	9	11	6	45	73
7	人	1	7	19	27	13	8	7	11	6	45	72
8	人	1	7	18	26	14	8	6	10	6	44	70
9	人	1	6	19	26	14	7	7	12	6	46	72
10	人	1	6	17	24	15	7	7	11	5	45	69
11	人	1	6	17	24	17	5	7	11	5	45	69
12	人	1	6	15	22	16	5	7	11	7	46	68
1	人	0	6	16	22	15	5	6	11	7	44	66
2	人	0	7	16	23	14	5	7	11	6	43	66
3	人	0	6	16	22	14	5	6	11	6	42	64
計	人	9	79	213	301	171	76	82	133	72	534	835
前年度	人	12	74	218	304	199	132	111	156	70	668	972

【研修・会議等参加状況】

月 日	主 な 会 議 ・ 研 修 会 等	開 催 場 所
平成30年5月18日	気仙沼圏域における医療と介護の連携推進のための研修会	気仙沼保健福祉事務所
5月26日	全国Web講演会	一景閣
6月13日	福祉用具展示会	ゲストハウスアーバン
7月23日	気仙沼市権利擁護研修会	ワンテン庁舎
9月14日	気仙沼市介護サービス事業者集団指導	ワンテン庁舎
11月6日	居宅介護支援部門研修会	ワンテン庁舎
11月17日	地域包括ケア市民フォーラム	気仙沼プラザホテル
12月6日	介護支援専門員実務研修指導者研修	宮城県庁
12月10日	宮城県高次脳機能障害研修事業	気仙沼保健福祉事務所
平成31年1月17日	ケアマネージャー他職種連携研修会	保健福祉センター いこい
2月1日	地域包括ケアシステムのための医療・介護連携と地域づくりによる介護予防	市民福祉センター やすらぎ
3月12日	難病患者支援者研修会	気仙沼保健福祉事務所

【成果】ケアマネジメントが難しいケースに対しては、関係機関やサービス事業者との連携により、丁寧な対応に努めました。

(平成30年度 介護報酬目標達成度(当初予算対比) : 82.5% 前年度 : 69.3%)

【課題】要支援認定利用者が増加し、要介護認定利用者が減少する傾向が継続し、介護報酬の減収に影響しています。

【今後の取組】複雑化する各種サービス基準に対応できるように職員の資質の向上を図ります。

また、管理者の下で、職員一人ひとりが積極的に集客のための周知活動を行い、新規利用者の確保による増収に努めます。

【決算】 事業活動収入 10,533,850 円

事業活動支出 12,099,972 円

その他の活動支出 305,280 円

当期資金収支差額 -1,871,402 円

(前期末支払資金残高から充当)

(2) 燦さん館ケアプランセンター

【概要】利用者が住み慣れた自宅で安心して生活できるように、適切なケアマネジメントの実施及び多職種の連携に努めました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	17	32	49	22	26	5	11	9	73	122
5	人	17	28	45	23	31	7	8	5	74	119
6	人	15	29	44	20	28	10	12	4	74	118
7	人	15	33	48	21	30	5	9	6	71	119
8	人	17	29	46	25	30	9	10	4	78	124
9	人	18	29	47	26	29	8	9	4	76	123
10	人	18	26	44	27	32	8	9	5	81	125
11	人	18	28	46	24	29	12	10	4	79	125
12	人	17	26	43	25	28	10	10	4	77	120
1	人	16	23	39	23	29	10	10	4	76	115
2	人	19	24	43	21	28	11	12	4	76	119
3	人	18	25	43	21	28	11	11	5	76	119
計	人	205	332	537	278	348	106	121	58	911	1,448
前年度	人	142	329	471	263	362	102	121	62	910	1,381

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
5月15日	居宅支援管理者会議	ワンテン庁舎
7月23日	気仙沼市権利擁護研修会	ワンテン庁舎
8月6日	介護予防ケアプランの作成のポイントについて	やすらぎ
8月29日	介護サービスの質の向上に関する事業所管理者等研修会	イズミティ21
9月3日	平成30年度唐桑地域多職種連絡会	保健福祉センター
9月6日	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	仙台市アエル
9月14日	平成30年度気仙沼市介護サービス事業所集団指導	ワンテン庁舎
10月25日	平成30年度気仙沼圏域認知症ケア向上研修会	県保健福祉事務所
10月26日	平成30年度第4回居宅支援事業所管理者等連絡会	県保健福祉事務所
12月4日	救急搬送に関する現状と課題について	ワンテン庁舎
12月6日	平成30年度介護支援専門員実務研修実習指導者研修	宮城県庁
2月13日	平成30年度第6回居宅支援事業所管理者等連絡会	ワンテン庁舎
2月19日	平成30年度介護給付適正化事業ケアプラン点検	ワンテン庁舎

【成果】利用者を積極的に受け入れることで、利用者数が前年度より増加しています。介護保険サービスだけでなく、多職種と問題解決に向けて取り組む等、連携する機会が多く勉強になりました。

(平成30年度 介護報酬目標達成度(当初予算対比)：95% 前年度：90%)

【課題】前年度より利用者は増加していますが、介護予防の割合が高いことや新規の相談があり自宅訪問しても、今後のためにと実際のサービス利用に繋がらないことが多くなっています。

【今後の取組】新規利用者の確保に努めます。また、一人暮らし、老夫婦世帯等が増加し、対応が難しいケースが多くなっていることから、多職種との連携を図り、安心して在宅生活が送られるように相談しながら支援します。

【決算】事業活動収入	15,806,100円	事業活動支出	15,723,859円
その他の活動収入	2,000,000円	その他の活動支出	1,138,416円
(運用基金からの繰入)		当期資金収支差額	943,825円

(3) 津谷居宅介護支援事業所

【概要】利用者の立場に立ち、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、生活全体を支える自立支援に向けたケアマネジメントの視点を常に意識し、関係機関と連携しながらサービス提供に努めました。

【事業実績】

月	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	17	44	61	40	39	16	15	12	183
5	人	16	45	61	38	37	18	15	14	183
6	人	17	42	59	36	36	17	16	12	176
7	人	13	45	58	32	36	16	17	13	172
8	人	13	45	58	35	32	13	16	16	170
9	人	16	42	58	35	33	14	17	13	170
10	人	18	40	58	32	33	13	18	15	169
11	人	18	43	61	31	33	14	19	13	171
12	人	18	43	61	30	33	13	19	13	169
1	人	12	41	53	33	31	14	20	9	160
2	人	16	37	53	32	32	15	19	9	160
3	人	15	36	51	37	29	18	20	10	165
計	人	189	503	692	411	404	181	211	149	2,048
前年度	人	191	524	715	472	441	218	208	155	2,209

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成30年5月18日	気仙沼圏域における医療と介護の連携推進の為の研修会	気仙沼保健福祉事務所
平成30年5月29日	気仙沼市立病院回復期リハビリ病棟報告会	気仙沼市立病院
平成30年6月9日	平成30年度宮城県ケアマネ協会気仙沼支部総会記念講演会	すこやか
6月20日・10月24日	平成30年度認知症介護家族等懇談会	いこい
8月10日	認知症予防大作戦in本吉	いこい
8月22日	認知症キャラバンメイトスキルアップ研修会	ワン・テン
8月29日	介護サービスの質の向上に関する市町村担当者、事業所管理者等研修会	イズミティ21
8月30日～9月18日の4日間	平成30年度介護支援専門員 更新研修Ⅱ	仙台市、エレクトロンホール等
9月6日	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	仙台市アエル
9月14日	平成30年度集団指導	気仙沼保健福祉事務所
9月22日～10月19日の12日間	平成30年度主任介護支援専門員研修	仙台市、宮城県医師会館等
9月29日	平成30年度「地域包括ケア市民フォーラムin本吉」	いこい
10月9日	若年性認知症自立支援研修会	気仙沼保健福祉事務所
10月25日	平成30年度気仙沼圏域認知症ケア向上研修会	気仙沼保健福祉事務所
12月1日	他事業所との合同研修会、事例検討会	いこい
12月5日	平成30年度介護支援専門員実務研修実習指導者研修	宮城県庁
12月10日	気仙沼地区保健医療福祉研修会	気仙沼プラザホテル
12月20日	平成30年度権利擁護研修会	やすらぎ
1月17日	平成30年度ケアマネジャー気仙沼市多職種連携研修会	いこい
2月1日	平成30年度気仙沼医療・介護連携センター主催研修会	やすらぎ
3月6日	ケアマネジメント情報連絡会	いこい
隔月1回	居宅介護支援事業所管理者等連絡会	ワン・テン
毎月1回	ケアマネ定例会議	本吉公民館、いこい
毎月1回	ケアマネ定例事例検討会	気仙沼市立病院
毎月2回	本吉病院医療連携研修会	気仙沼市立病院
毎月1回	本吉支所定例会議	本吉支所
毎月1回	事故防止対策委員会、社協内情報共有会議	本所
毎月1回	職員会議	津谷居宅支援事業所
毎週1回	事例検討会議、伝達研修	津谷居宅支援事業所

【成果】新年度に新しい職員を迎え、ケアマネジメントの流れについて再確認しながら前年度に引き続き利用者との信頼関係を構築しながら、一人ひとりに丁寧な寄り添い、常に自立支援に向けたサービス提供に努めました。

(平成30年度 介護報酬目標達成度(当初予算対比) 84.3% 前年度81.9%)

【課題】認知症やアルコール依存の利用者、老々介護の方への支援等、様々な環境を踏まえた上での支援方法が常に課題となっています。その一つ一つの問題に対して、自分のことのように抱えてしまい精神的に苦しい状態となることがあります。利用者の立場に立ち、客観的な視点で支援することが必要となっています。

【今後の取組】様々な担当ケースの支援方法についての疑問点は、常に職員間で声に出し手を止め話し合いができる職場づくりを心掛けています。また、困難事例も増加していることから関係者と必要な情報を共有し、課題検討を通してスキルアップに繋がります。特定事業所加算を算定している事業所でもあり、同地域の他事業所との研修会や事例検討会を行う事で互いのスキルアップし、地域支援を図えるよう努めます。

【決算】事業活動収入	28,239,440円	事業活動支出	30,253,951円
その他の活動収入	4,457,460円	その他の活動支出	1,944,948円
		当期資金収支差額	498,001円

(4) 気仙沼市ホームヘルプサービス事業所

【概要】 要介護又は要支援にある利用者が、住み慣れた地域や自宅で自分らしく安心して生活できるように、適切な介護計画を策定し、利用者やその家族等からの評価によるサービスの見直しを図ることで、よりきめ細やかなサービス提供に努めました。

【事業実績】

月	事業対象者	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	2	5	10	2	0	2	2	2	8	25
	回	12	40	72	35	0	68	62	76	241	365
5	人	2	5	12	2	0	2	2	2	8	27
	回	12	42	98	37	0	65	55	66	223	375
6	人	2	5	12	2	1	2	2	2	9	28
	回	10	42	89	35	121	70	64	73	363	504
7	人	2	5	13	2	1	3	2	2	10	30
	回	13	41	95	9	42	83	65	49	248	397
8	人	2	5	12	3	1	2	2	2	10	29
	回	12	42	100	23	31	37	67	52	210	364
9	人	2	4	13	2	1	2	2	2	9	28
	回	11	34	102	24	30	32	63	37	186	333
10	人	2	4	12	5	1	3	2	2	13	31
	回	11	35	107	35	31	44	65	78	253	406
11	人	2	3	13	5	1	3	2	2	13	31
	回	12	23	109	30	34	51	64	58	237	381
12	人	2	3	12	5	1	2	2	3	13	30
	回	10	23	105	34	31	31	65	114	275	413
1	人	1	3	13	4	1	2	2	3	12	29
	回	3	27	114	35	31	32	64	63	225	369
2	人	1	4	12	5	1	2	3	1	12	29
	回	3	27	93	37	16	30	95	17	195	318
3	人	1	4	12	4		2	3	1	10	27
	回	3	34	99	25		33	96	25	179	315
計	人	21	50	146	41	9	27	26	24	127	344
	回	112	410	1,183	359	367	576	825	708	2,835	4,540
前年度	人	24	64	110	67	40	42	35	18	202	400
	回	131	512	725	1,368	1,328	651	1,055	445	857	5,704

【研修・会議等参加状況】

月 日	主 な 会 議 ・ 研 修 会 等	開 催 場 所
平成30年6月13日	福祉用具展示会	ゲストハウスアーバン
7月13日	介法協訪問系研修会	キングスビレッジ交流ホール
7月31日	平成30年度介護サービス事業者集団指導	気仙沼保健福祉事務所
11月16日	保健・医療・福祉系職員対象スキルアップ研修	市民福祉センター やすらぎ
平成31年2月1日	地域包括ケアシステムのための医療・介護連携と地域づくりによる介護予防	市民福祉センター やすらぎ
2月23日	自立を支える地域福祉推進フォーラム	ワンテン庁舎

【成果】 高齢化に加え認知症の進行のほか、単身又は夫婦のみの利用者へのサービス提供が難しいケースが増えてきましたが、担当介護支援専門員との緊密な連携により、安心して在宅生活を送れるようなサービスを提供できました。

(平成30年度 介護報酬目標達成度(当初予算対比) : 90.3% 前年度 : 102.1%)

【課題】 要支援認定利用者が増加し、要介護認定利用者が減少する傾向が継続し、介護報酬の減収に影響しています。

【今後の取組】 職員の資質の向上を図り、利用者が安心して在宅生活を送れるようなサービスの提供に努めます。また、新規利用者の確保による増収に努めます。

【決算】 事業活動収入 18,564,034 円

事業活動支出 18,278,153 円

その他の活動支出 261,720 円

当期資金収支差額 24,161 円

(前期末支払資金残高から充当)

(5) 訪問介護ステーションからくわ

【概要】利用者の皆様が、安定した日常生活を維持できるように、個人の尊厳を保持し、質の高いサービスを提供するように努めました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	事業対象者	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	2	8	1	11	2	5	0	5	6	18	29
	回	8	71	4	83	19	86	0	202	210	517	600
5	人	2	9	1	12	1	4	0	5	5	15	27
	回	9	77	4	90	14	128	0	215	156	513	603
6	人	1	9	1	11	3	6	0	5	5	19	30
	回	3	75	4	82	39	148	0	181	155	523	605
7	人	1	8	1	10	3	4	0	4	6	17	27
	回	4	66	4	74	44	68	0	184	177	473	547
8	人	1	8	1	10	3	6	1	6	5	21	31
	回	4	67	5	76	40	131	70	241	160	642	718
9	人	1	9	1	11	3	6	1	5	5	20	31
	回	4	67	3	74	37	128	26	194	153	538	612
10	人	1	7	1	9	3	5	1	5	5	19	28
	回	4	63	4	71	32	77	2	192	152	455	526
11	人	1	8	1	10	2	4	1	5	5	17	27
	回	4	63	5	72	31	75	2	188	146	442	514
12	人	1	7	1	9	3	4	1	4	5	17	26
	回	4	58	2	64	33	69	4	186	122	414	478
1	人	1	7	1	9	2	5	1	4	6	18	27
	回	4	54	2	60	30	82	34	178	161	485	545
2	人	2	7	1	10	1	4	2	5	5	17	27
	回	7	54	3	64	24	55	29	200	136	444	508
3	人	2	7	1	10	1	5	1	5	4	16	26
	回	8	62	4	74	27	80	28	255	82	472	546
計	人	16	94	12	122	27	58	9	58	62	214	336
	回	63	777	44	884	370	1,127	195	2,416	1,810	5,918	6,802
前年度	人	38	78	12	128	42	64	4	53	87	250	378
	回	128	621	47	796	422	1,449	50	1,369	1,919	5,209	6,005

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成30年7月13日	居宅サービス部会訪問系研修会	キングスビレッジ
7月31日	平成30年度訪問系サービス集団指導	気仙沼保健福祉事務所
8月29日	平成30年度介護サービスの質の向上に関する研修会	仙台市・イズミティ21
9月6日	平成30年度福祉サービスの苦情解決に関する研修会	仙台市・アエル
10月12日	平成30年度唐桑地域多職種連絡会	燦さん館
11月9日	平成30年度訪問介護員研修会	気仙沼市役所ワンテン庁舎
12月10日	平成30年度宮城県高次脳機能障害研修	気仙沼保健福祉事務所
平成30.4～31.3	事故防止対策委員会（月1回）	社協本所
平成30.4～31.3	スタッフ会議（月1回）支所管理者会議（月1回）	社協唐桑支所

【成果】要介護の活動件数が、前年度より増加傾向にあります。今年度は研修等の強化に取り組み職員全体のスキルアップ及び実践力の向上を図り、より良いサービス提供ができました。

（平成30年度 介護報酬目標達成度（当初予算対比）：116% 前年度：96%）

【課題】新規利用に繋がっても在宅での介護負担が大きく、入所や他のサービスに移行される傾向が見られます。

【今後の取組】他職種と連携を図り、地域に密着したサービスの提供に取り組みます。また、各種研修会に積極的に参加し、業務に対する知識や技能の向上に努めます。

【決算】事業活動収入 20,921,020円
その他の活動収入 0円

事業活動支出 21,773,289円
その他の活動支出 329,088円
当期資金収支差額 -1,181,357円
（前期末支払資金残高から充当）

(6) ヘルパーステーションもとよし

【概要】住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、利用者一人ひとりのニーズに応じた個別ケア計画に基づき、関係機関との連携の下、きめ細やかなサービス提供に努めました。

【事業実績】

【事業実績】											
月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	5	14	19	13	6	6	7	9	41	60
	回	19	94	113	70	92	138	169	130	599	712
5	人	5	14	19	11	6	7	6	7	37	56
	回	21	90	111	77	82	149	149	138	595	706
6	人	5	12	17	13	8	8	5	7	41	58
	回	21	76	97	124	90	189	140	109	652	749
7	人	5	13	18	9	9	7	6	10	41	59
	回	19	78	97	62	108	117	191	195	673	770
8	人	5	12	17	9	8	3	5	11	36	53
	回	19	78	97	57	91	70	160	314	692	789
9	人	5	9	14	12	8	4	7	10	41	55
	回	15	55	70	66	105	79	181	150	581	651
10	人	4	9	13	11	7	5	8	11	42	55
	回	14	57	71	73	106	102	206	218	705	776
11	人	4	8	12	11	7	4	7	11	40	52
	回	12	49	61	80	100	80	209	241	710	771
12	人	4	8	12	10	8	3	7	11	39	51
	回	13	44	57	66	106	75	220	184	651	708
1	人	5	6	11	10	8	4	7	9	38	49
	回	15	36	51	81	106	70	220	167	644	695
2	人	4	7	11	10	9	4	7	9	39	50
	回	15	43	58	81	103	70	202	190	646	704
3	人	4	7	11	10	7	4	7	11	39	50
	回	12	39	51	81	101	52	211	261	706	757
計	人	55	119	174	129	91	59	79	116	474	648
	回	195	739	934	918	1,190	1,191	2,258	2,297	7,854	8,788
前年度	人	42	143	185	91	73	56	81	122	423	608
	回	212	956	1,168	509	991	989	3,180	2,080	7,749	8,917

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成30年 5月19日	健康長寿ガイドライン	市役所ワンテン庁舎
6月5日	認知症高齢者の医学知識	宮城県介護研修センター
6月25日	高齢者の虐待予防と権利擁護	宮城県介護研修センター
6月29日	終末期看取り	市役所ワンテン庁舎
7月31日	介護事業集団指導	気仙沼保健福祉事務所
8月3日	安全運転管理者講習	気仙沼中央自動車学校
6月29日	終末期看取り	市役所ワンテン庁舎
8月7日	チームワークの大切さを学ぶ	宮城県介護研修センター
8月29日	介護サービス質の向上に関する研修会	イズミティ 21
9月6日	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	仙台アエル 多目的ホール
11月30日	現場で役立つ感染予防と対策	宮城県介護研修センター
平成31年 2月1日	気仙沼市医療、介護連携センター研修会	市民福祉センターやすらぎ
	事業所内会議：ヘルパー会議、伝達研修（訪問入浴合同で毎月開催）	

【成果】本年度より、事業所加算Ⅰが適応されることになり、尚一層職員の資質向上を図るため事業所内で感染症等の勉強会を行いました。利用者の新たな要望に対応できる事業所として、確かな知識と質の高い介護技術の提供に努めました。また、昨年に引き続き、高校の介護実習生1人を受け入れました。利用者にも喜ばれ、福祉人材の育成に貢献しました。今後も受け入れを行います。

(平成30年度 介護報酬目標達成度(当初予算対比) 90.2% 前年度70%)

【課題】職員の平均年齢の上昇に伴い、体調維持と若手育成に向けた人材確保が課題です。また、新規利用希望が少なく、急な利用変更により、利用者数が激減している状況です。

【今後の取組】先を見据えた事業展開をイメージしながら計画的な体制整備と併せて、選ばれる事業所となるために提供体制の強化に努め、事業所加算Ⅰ算定事業所として、質の高いサービス提供ができるように、さらには、介護の視点だけでなく福祉用具に関する正しい知識や技術を持合わせ総合的な介護のアドバイスができるよう全職員で取り組みます。

【決算】事業活動収入	32,484,488円	事業活動支出	32,738,072円
その他の活動収入	3,307,000円	その他の活動支出	1,554,430円
(運用基金事業から繰入)		当期資金収支差額	1,498,986円

(7) 訪問入浴サービスからくわ

【概要】利用者、家族の意向を尊重し質の良いサービスを提供することにより、利用者が安心して在宅生活を送ることができるよう努めました。

【実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	0	1	1	1	3	0	3	6	13	14
	回	0	5	5	4	13	0	9	25	51	56
5	人	0	1	1	0	5	1	2	6	14	15
	回	0	4	4	0	14	1	9	27	51	55
6	人	0	1	1	0	3	1	4	6	14	15
	回	0	4	4	0	9	2	16	22	49	53
7	人	0	1	1	0	1	1	4	7	13	14
	回	0	5	5	0	4	3	16	26	49	54
8	人	0	2	2	0	2	1	3	6	12	14
	回	0	6	6	0	4	2	12	27	45	51
9	人	0	2	2	0	2	1	3	6	12	14
	回	0	7	7	0	5	2	10	23	40	47
10	人	0	2	2	0	2	1	3	6	12	14
	回	0	7	7	0	4	2	11	28	45	52
11	人	0	2	2	0	2	2	2	6	12	14
	回	0	7	7	0	5	3	9	24	41	48
12	人	0	1	1	0	1	4	3	6	14	15
	回	0	3	3	0	3	10	12	24	49	52
1	人	0	1	1	0	0	4	3	6	13	14
	回	0	4	4	0	0	11	10	23	44	48
2	人	0	1	1	0	0	4	4	6	14	15
	回	0	4	4	0	0	9	13	23	45	49
3	人	0	1	1	0	0	2	4	5	11	12
	回	0	4	4	0	0	4	16	19	39	43
計	人	0	16	16	1	21	22	38	72	154	170
	回	0	60	60	4	61	49	143	291	548	608
前年度	人	0	0	0	6	14	28	43	81	172	172
	回	0	0	0	26	57	97	168	304	652	652

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成30年4月25日	気仙沼介護サービス法人連絡協議会平成30年度総会	中央公民館
6月25日	高齢者の虐待防止と権利擁護	宮城県介護研修センター
7月11日	平成30年度防災研修会	やすらぎ
7月31日	平成30年度集団指導訪問系サービス	気仙沼保健福祉事務所
8月3日	安全運転管理者講習会	気仙沼中央自動車学校
8月29日	介護サービスの質の向上に関する市町村担当者事業所管理者等研修会	イズミティ21
9月6日	平成30年度福祉サービスの苦情解決に関する研修会	アエル
10月9日	平成30年度若年性認知症自立支援研修会	気仙沼保健福祉事務所
10月11日	介護講座「医療ニーズを見逃さないケアを学ぶ」	宮城県介護研修センター
10月13日	平成30年度地域保健医療福祉従事者研修会	気仙沼保健福祉事務所
11月16日	保健医療の福祉系職員対象スキルアップ研修	すこやか
11月17日	感染症治療における多剤耐性菌について	すこやか
11月30日	介護講座「現場で役立つ感染予防と対策」	宮城県介護研修センター
12月10日	平成30年度第2回気仙沼市権利擁護研修会	やすらぎ
平成31年2月1日	平成30年度気仙沼市医療・介護連携センター主催研修会	やすらぎ
3月12日	平成30年度難病患者支援研修会	気仙沼保健福祉事務所
3月17日	在宅医療講演会	すこやか

【成果】利用者の体調面、精神面、家族の意向を常に把握し、職員間での検討や共通認識を持ち、質の良い安心、安全なサービスを提供しました。また、研修等に積極的に参加し、個々の質の向上に努めました。

(平成30年度 介護報酬目標達成度(当初予算対比): 73% 前年度: 75%)

【課題】施設入所や体調不良で入院する利用者が増加し、実績減の要因となっています。新規利用者の確保も難しい状態になっています。また、職員の体制整備が必要です。

【今後の取組】地域の関連団体、施設、医療関係と密に連携を保つことで、利用者、家族の方に質の高いサービスを提供できるよう努めます。また、利用者が減少しているので、今後も周知活動を継続し、短期利用も受け入れます。

【決算】事業活動収入 7,808,960円

事業活動支出 9,224,068円

その他の活動支出 354,852円

当期資金収支差額 -1,769,960円

(前期末支払資金残高から充当)

(8) 訪問入浴サービスもとよし

【概要】住み慣れた地域で安心して生活できるよう、利用者や家族の意向を尊重し、関係機関と連携して、利用者が満足できるよう適切なサービス提供に努めました。

【事業実績】

月	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人回			1	2	6	5	9	23	23
				4	9	33	17	43	106	106
5	人回			2	2	6	3	10	23	23
				9	7	36	11	44	107	107
6	人回			1	2	6	3	6	18	18
				4	6	37	10	31	88	88
7	人回				1	4	5	10	20	20
					5	18	14	39	76	76
8	人回				1	1	5	11	18	18
					2	9	19	52	82	82
9	人回						4	10	14	14
							12	42	54	54
10	人回						6	13	19	19
							20	61	81	81
11	人回						6	12	18	18
							18	67	85	85
12	人回						7	11	18	18
							20	56	76	76
1	人回						6	10	16	16
							21	53	74	74
2	人回						7	9	16	16
							24	49	73	73
3	人回						6	11	17	17
							23	66	89	89
計	人回	0	0	0	4	8	23	122	220	220
		0	0	0	17	29	133	603	991	991
前年度	人回	0	0	0	5	30	53	93	259	259
		0	0	0	15	114	269	518	1,261	1,261

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成30年 5月19日	健康長寿ガイドライン	市役所ワンテン庁舎
6月25日	高齢者の虐待予防と権利擁護	宮城県介護研修センター
6月29日	終末期看取り	市役所ワンテン庁舎
7月31日	介護事業集団指導	気仙沼保健福祉事務所
8月3日	安全運転管理者講習	気仙沼中央自動車学校
8月7日	チームワークの大切さを学ぶ	宮城県介護研修センター
9月14日	認知症予防とケアの最前線	宮城県介護研修センター
10月23日	排泄ケアの視点	宮城県介護研修センター
11月30日	現場で役立つ感染予防と対策	宮城県介護研修センター
平成31年 2月1日	気仙沼市医療、介護連携センター研修会	市民福祉センターやすらぎ
事業所内会議：ヘルパー会議、伝達研修（訪問介護合同で毎月開催）		

【成果】男性看護師が増員され、看護師とオペレーター業務に対応できるようになりました。新規やターミナル期の方々へ迅速な対応ができ、良い時間を過ごしていただくことができました。他職種の医療と連携し、全身状態の観察を密にし、利用者家族のニーズを把握し、ケアマネジャーへ報告することで心身の負担軽減を図れるような支援を行いました。

（平成30年度 介護報酬目標達成度（当初予算対比） 69.3% 前年度 102%）

【課題】今年度、多くの長年の利用者が逝去されました。また、体調により入退院やショートステイにより利用減少がみられています。終末期で数回の利用にて逝去されたことから利用者数の増には繋がっていませんでした。

【今後の取組】職員体制が整備されたことにより、市内居宅支援事業所をはじめ、病院の地域連携室や調剤薬局への周知活動を継続し、利用者確保に努めます。平成31年度からは13%割引を撤廃することで収入増加が期待できますが、利用料金が上がるため不満を感じている利用者もあり、利用者の満足度を高めるため、職員の技術の向上を図り、質の高いサービス提供に努めます。

【決算】事業活動収入	12,960,482円	事業活動支出	19,678,795円
その他の活動収入	9,244,000円	その他の活動支出	1,385,172円
(運用基金事業から繰入)		当期資金収支差額	1,140,515円

(9) 燦さん館デイサービスセンター

【概要】要介護者・要支援者に対し尊厳ある自立支援と家族の精神的・身体的負担の軽減に努めました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	6	23	29	20	20	9	12	5	66	95
	回	25	151	176	186	152	60	100	33	531	707
5	人	6	20	26	23	18	10	11	3	65	91
	回	22	143	165	194	167	76	116	17	570	735
6	人	5	19	24	20	22	11	12	3	68	92
	回	21	137	158	184	190	81	100	18	573	731
7	人	5	23	28	22	23	9	11	2	67	95
	回	21	148	169	203	191	74	126	14	608	777
8	人	6	20	26	25	21	10	11	1	68	94
	回	24	128	152	224	184	82	118	13	621	773
9	人	7	20	27	26	20	12	12	1	71	98
	回	27	128	155	208	176	79	122	11	596	751
10	人	6	18	24	27	21	10	12	2	72	96
	回	25	126	151	251	177	71	124	27	650	801
11	人	6	20	26	27	19	13	12	2	73	99
	回	21	133	154	249	159	90	134	27	659	813
12	人	5	19	24	27	20	15	12	1	75	99
	回	19	130	149	232	169	89	125	2	617	766
1	人	5	19	24	26	17	14	12	1	70	94
	回	19	120	139	229	132	90	110	8	569	708
2	人	5	17	22	22	16	16	11	1	66	88
	回	19	120	139	190	151	103	96	12	552	691
3	人	5	18	23	25	18	14	12	0	69	92
	回	20	125	145	209	170	105	119	0	603	748
計	人	67	236	303	290	235	143	140	22	830	1,133
	回	263	1,589	1,852	2,559	2,018	1,000	1,390	182	7,149	9,001
前年度	人	54	222	276	260	290	166	133	51	900	1,176
	回	229	1,612	1,841	1,854	2,390	1,435	1,111	425	7,215	9,056

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成30年		
4月25日	気仙沼介護サービス法人連絡協議会 平成30年度 総会	やすらぎ 研修室
6月6日	高齢者の摂食・嚥下障害の基礎知識	県介護研修センター
6月25日	高齢者の虐待防止と権利擁護	県介護研修センター
7月11日	平成30年度防災研修会	やすらぎ
7月27日	県集団指導 通所系	県福祉事務所
8月3日	安全運転管理者講習会	気仙沼中央自動車学校
8月29日	介護サービスの質の向上に関する市町村担当者事業所管理者研修会	仙台市
9月6日	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	仙台市
9月14日	健康長寿新ガイドライン専門研修	ワンテンビル
9月15日	平成30年度「認知症懇談会」・「燦さんカフェ」in唐桑	唐桑 燦さん館研修室
10月9日	平成30年度 若年性認知症自立支援研修会	県福祉事務所
10月11日	介護講座「医療ニーズを見逃さないケアを学ぶ」	県介護研修センター
10月12日	平成30年度 唐桑地域多職種連絡会	唐桑 燦さん館研修室
10月13日	平成30年度 地域保健医療福祉従事者研修	県福祉事務所
10月19日	通所事業所等職員研修	ワンテンビル
10月25日	平成30年度 気仙沼圏域認知症ケア向上研修会	県福祉事務所
11月16日	平成30年度 唐桑町防火管理者協会 事業所指定訓練	からくわ荘
11月16日	保健・医療・福祉系職員等対象スキルアップ研修	すこやか
11月17日	保健・医療・福祉系職員等対象スキルアップ研修	すこやか
11月30日	介護講座 現場で役立つ感染予防と対策	県福祉事務所
12月10日	平成30年度 第二回 気仙沼市権利擁護研修会	やすらぎ
12月10日	平成30年度 宮城県高次脳機能障害研修事業	県福祉事務所
12月11日	平成30年度 気仙沼圏域介護保険事業所 業務改善セミナー	やすらぎ

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成31年		
2月1日	平成30年度 気仙沼市医療・介護連携センター主催研修会	やすらぎ
2月18日	平成30年度 第二回管理者会議	やすらぎ
3月12日	平成30年度 難病患者支援者研修会	県福祉事務所
3月17日	在宅医療講演会	すこやか

【成果】追加利用・曜日変更等積極的に働き掛けた結果、利用増となりました。
(平成30年度 介護報酬目的達成度(当初予算比):97% 前年度92%)

【課題】ショートステイ利用や入院、体調不良等での利用者減をどのように対処していくか職員会議等で意見を出し合い、課題解決に職員全員で取り組む体制整備が必要です。

【今後の取組】利用者は選ばず、困難な事例等で困っている相談にも積極的に関わり、地域や居宅支援事業所から絶対の信頼を得るよう職員全員で取り組みます。また、介護・車輛事故等が発生しないよう職員一人ひとり常に意識を持って業務に取り組むとともに、日々の業務を怠らず、利用者・家族からの小さな悩みにも親身に対応し更なる信頼を築き上げられるよう努めます。

【決算】 事業活動収入	71, 171, 464円	事業活動支出	65, 210, 843円
その他の活動収入	634, 446円	施設整備等支出	1, 304, 976円
		その他の活動支出	1, 748, 748円
		当期資金収支差額	3, 541, 343円

(10) 気仙沼市福寿荘デイサービスセンター

【概要】通所による各種介護サービスを提供し、生活の助長、心身機能の維持向上と介護者の精神的、身体的負担の軽減に努め指定管理施設としても施設の適正な維持管理を行いました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小計	合計
4	人	2	3	5	5	11	6	6	4	32	37
	回	12	19	31	52	103	52	68	48	323	354
5	人	2	3	5	5	10	7	6	4	32	37
	回	14	20	34	48	100	56	74	51	329	363
6	人	2	3	5	3	10	8	5	4	30	35
	回	13	22	35	34	104	59	68	51	316	351
7	人	2	3	5	4	9	7	6	4	30	35
	回	12	24	36	38	102	69	70	49	328	364
8	人	1	3	4	5	11	6	6	4	32	36
	回	9	23	32	50	125	54	71	46	346	378
9	人	1	3	4	6	11	6	6	4	33	37
	回	9	22	31	53	117	52	73	47	342	373
10	人	1	3	4	6	11	5	6	5	33	37
	回	9	16	25	70	102	49	90	51	362	387
11	人	2	2	4	5	7	5	7	5	29	33
	回	17	15	32	65	72	42	91	41	311	343
12	人	2	2	4	5	7	3	7	4	26	30
	回	15	11	26	61	77	17	84	39	278	304
1	人	2	2	4	5	7	3	6	5	26	30
	回	16	11	27	61	75	19	78	54	287	314
2	人	2	1	3	4	7	3	6	7	27	30
	回	15	8	23	49	69	17	65	78	278	301
3	人	2	1	3	4	7	3	5	7	26	29
	回	15	5	20	60	70	19	67	85	301	321
計	人	21	29	50	57	108	62	72	57	356	406
	回	156	196	352	641	1,116	505	899	640	3,801	4,153
前年度	人	31	36	67	91	107	66	66	62	392	459
	回	179	262	441	1,177	992	678	595	637	4,079	4,520

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成30年6月29日	在宅での医療・介護と看取り	ワンテン庁舎
7月11日	防災研修会	市民福祉センター やすらぎ
7月27日	介護保険指定事業者集団指導	気仙沼保健福祉事務所
8月23日	排泄を考える講演会	ワンテン庁舎
9月6日	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	仙台市アエル
10月19日	通所事業所等職員研修	ワンテン庁舎
10月25日	気仙沼圏域認知症ケア向上研修会	気仙沼保健福祉事務所
11月16日	保健・医療・福祉系職員等対象のスキルアップ研修	市民健康管理センター すこやか
12月10日	気仙沼市権利擁護研修会	市民福祉センター やすらぎ
12月12日	気・南介法協居宅サービス部会通所系研修会	本所

【成果】要介護度の高い利用者の受入れで、大幅な収入減とはなりませんでした。

【課題】年間を通じて、安定した利用率の達成と新規利用者獲得及び収支の均衡が喫緊の課題です。また、職員個々の身体・精神的負担が増している状況から、代替職員等の補充を図る等、職場環境や労務面での体制整備、年休等の取得促進に取り組む必要があります。

【今後の取組】職員一人ひとりが自覚と責任を持ったサービス提供に努め、利用する方々や家族の方がより安心できる施設運営と社協の使命である地域に貢献する施設運営を目指します。

【決算】事業活動収入	36,513,060 円	事業活動支出	38,615,538 円
		施設整備等支出	156,000 円
		その他の活動支出	1,181,784 円
		当期資金収支差額	-3,440,262 円
			(前期末支払資金残高から充当)

(11) やすらぎデイサービスセンター

【概要】介護を必要とする利用者様が安心して在宅生活を送れるように質の高い介護サービスを提供し、ご家族の身体的・精神的な介護負担が軽減できるように努めました。地域内外のボランティア団体に支援いただきながら工夫に富んだレクリエーションの提供により利用者様が楽しみを持ち生き生きと過ごせるよう事業運営に努めました。

【事業実績】

月	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人 9	8	17	12	14	7	6	2	41	58
	回 42	62	104	62	137	69	34	7	309	413
5	人 9	8	17	13	15	5	6	3	42	59
	回 47	68	115	71	137	60	38	16	322	437
6	人 10	8	18	13	15	5	5	3	41	59
	回 45	68	113	67	137	55	29	16	304	417
7	人 9	9	18	15	15	7	3	2	42	60
	回 38	71	109	74	141	64	22	11	312	421
8	人 9	9	18	15	13	7	3	3	41	59
	回 41	68	109	76	125	76	21	15	313	422
9	人 10	7	17	13	13	7	4	3	40	57
	回 44	54	98	63	103	64	21	14	265	363
10	人 10	8	18	15	12	8	4	3	42	60
	回 47	60	107	86	94	82	22	16	300	407
11	人 10	7	17	16	11	7	4	4	42	59
	回 52	52	104	85	88	65	19	21	278	382
12	人 12	6	18	14	11	8	5	3	41	59
	回 51	43	94	79	75	69	23	15	261	355
1	人 10	8	18	14	9	7	5	3	38	56
	回 46	53	99	73	64	60	20	17	234	333
2	人 10	7	17	13	10	7	4	3	37	54
	回 45	49	94	68	64	61	20	17	230	324
3	人 10	7	17	12	10	6	6	3	37	54
	回 47	53	100	64	78	58	28	19	247	347
計	人 118	92	210	165	148	81	55	35	484	694
	回 545	701	1,246	868	1,243	783	297	184	3,375	4,621
前年度	人 73	69	142	135	152	92	56	31	466	608
	回 399	521	890	854	1,229	899	382	108	3,472	4,362

【研修・会議参加状況】

月 日	主 な 会 議 ・ 研 修 等	開 催 場 所
平成30年5月18日	健康長寿新ガイドライン 専門研修	ワンテン庁舎
6月28日	健康長寿新ガイドライン 専門研修	ワンテン庁舎
7月11日	気仙沼市防災研修会	市民福祉センター やすらぎ
7月27日	平成30年度 集団指導	県気仙沼保健福祉事務所
8月23日	排便を考える講演会	ワンテン庁舎
9月14日	健康長寿新ガイドライン 専門研修	ワンテン庁舎
11月4日	平成30年度 気仙沼市福祉避難所解説・運営訓練	気仙沼中学校
12月5日	気仙沼圏域介護新入職員交流会	市民福祉センター やすらぎ
平成31年2月1日	平成30年度 気仙沼市医療・介護連携センター主催研修会	市民福祉センター やすらぎ

【成果】居宅介護事業所から新規利用の依頼も多くあり、利用回数の追加希望や見学希望者にも随時対応しました。

(平成30年度 介護報酬目標達成度(当初予算比):94.3% 前年度 77.5%)

【課題】職員の休業や時短勤務等によるマンパワー不足により各居宅介護事業所からの新規利用の依頼にスピーディーに応じられないことから、体制整備が必要です。

【今後の取組】地域社会に密着し継続的な新規利用者の獲得のために、積極的に各種研修・勉強会に参加しながら各関係機関との良好な関係づくりを継続します。また、サービスの質の向上を常に念頭に置き、カンファレンス等で日々議論し職員の資質向上を目指し安定した事業運営に努めます。

【決算】事業活動収入 34,896,144 円 事業活動支出 36,686,446 円
 その他の活動収入 706,414 円 その他の活動支出 1,043,556 円
 当期資金収支差額 -2,127,444 円
 (前期末支払資金残高から充当)

(12) 大谷デイサービスセンター

【概要】利用者様の体調管理に努め、家族や担当ケアマネと連携を取り合いながら支援しました。日常動作や活動の他、嚥下体操を強化、12月からは音楽療法も取り入れ、更なる機能の維持向上を図るとともに、ふれあいや喜びあるサービスの提供に努めました。また、中学校の出前講座や小学校、幼稚園、学童との交流を継続し、施設や福祉への理解や関心を高めるよう、行事や活動を組み入れながら、支援に努めました。

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	3	12	15	16	12	1	3	3	35	50
	回	12	73	85	135	100	8	24	17	284	369
5	人	3	12	15	16	11	1	3	3	34	49
	回	9	69	78	139	104	8	23	18	292	370
6	人	2	11	13	16	11	1	4	2	34	47
	回	9	70	79	133	87	9	28	10	267	346
7	人	2	11	13	16	10	1	3	2	32	45
	回	6	70	76	142	76	4	19	10	251	327
8	人	3	11	14	17	8	1	2	2	30	44
	回	10	55	65	144	59	7	18	10	238	303
9	人	3	11	14	18	7	3	3	1	32	46
	回	11	56	67	144	52	21	17	3	237	304
10	人	4	10	14	19	9	3	3	1	35	49
	回	15	65	80	139	56	17	17	4	233	313
11	人	4	10	14	19	8	3	3	1	34	48
	回	16	61	77	162	63	23	12	3	263	340
12	人	3	10	13	19	8	3	3	1	34	47
	回	10	52	62	144	65	28	14	2	253	315
1	人	2	10	12	20	7	3	2	2	34	46
	回	6	54	60	144	51	28	17	7	247	307
2	人	4	9	13	18	8	3	1	2	32	45
	回	13	48	61	133	46	27	4	5	215	276
3	人	2	10	12	20	8	3	2	2	35	47
	回	6	55	61	180	67	24	6	7	284	345
計	人	35	127	162	214	107	26	32	22	401	563
	回	123	728	851	1739	826	204	199	96	3,064	3,915
前年度	人	38	174	212	181	99	21	50	19	370	582
	回	149	1046	1195	1395	1010	150	330	82	2,967	4,162

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成30年 5月25日	認知症の方への対応 / 『記録』について	大谷デイ
6月14日	防火防災管理者研修会 (～15日)	本吉公民館
7月11日	平成30年度防災研修会	やすらぎ
7月24日	医療連携研修会：「耐性菌の管理 病院、施設における耐性菌 (ESBL) について」	気仙沼市立本吉病院
7月27日	集団指導	気仙沼保健福祉事務所
9月6日	福祉サービスの苦情に関する研修会	仙台市アエル
10月9日	若年性認知症自立支援研修会	宮城県気仙沼保健所
10月23日	医療連携研修会「人と人をつなぐ施設のチーム力アップ」	気仙沼市立本吉病院
10月25日	気仙沼圏域認知症ケア向上研修会	気仙沼保健福祉事務所
11月1日	アンガーマネジメント研修会	大谷デイ
12月4日	感染管理ベストプラクティス	気仙沼市立本吉病院
平成31年 1月17日	平成30年度ケアマネ他職種連携研修会	いこい
3月5日	医療連携研修会「地域包括医療ケアについて」	気仙沼市立本吉病院
3月12日	難病患者支援者研修会	気仙沼保健福祉事務所
3月17日	在宅医療講演会「誤嚥性肺炎の予防と治療のケア」 毎月定例支所会議、事故防止対策委員会、職員会議を実施 その他、伝達研修実施	すこやか

【成果】様々な年代との交流や各種ボランティアの来所は大変喜ばれました。また、音楽療法の導入にて「大きな声ではっきり話す」「歌う」「楽器に親しみ合奏する」等は、体の様々な機能に刺激となり、楽しく健康増進を図ることができました。担当者会議には毎回出席し情報交換を行い支援に活かしてきましたが、入退院を繰り返したり入所となる利用者もあり、介護度の高い利用者が減少し、実績は低迷しました。

(平成30年度 介護報酬目標達成度(当初予算対比) 80.6% 前年度 86.5%)

【課題】施設備品等が経年劣化により故障が出始め、修繕費用がかさんでいる状況です。利用者の屋外活動(畑等)の幅を広げたいと考えていますが、施設周辺は危険箇所もあり、制限せざるを得ない状況もあります。また、介護技術向上を目指して、外部講師の招へいによる講習実施なども検討し、介護度の高い方の受け入れをしていく必要があります。

【今後の取り組み】地域への発信を継続するとともに、施設開放日を設けることで周知を図ります。新しい事業体系の導入を検討し、地域の支援者を増やす等、地域と連携した運営を進めます。利用者の意向調査等を実施し、意向を活動に取り入れ、喜びや意欲の向上を促すとともに、心身の緩和と活性化を図る等これまで以上に個々に寄り添った支援に努めます。また、研修の充実により職員全体の質を高めるとともに、新規利用に繋がるよう本会の他事業所との連携を強化し収入増を図り経営安定に努めます。

【決算】事業活動収入	28,797,477円	事業活動支出	39,950,998円
その他の活動収入	13,529,134円	その他の活動支出	634,960円
(運用基金事業から繰入8,741,000円含む。)		当期資金収支差額	1,740,653円

(13) グループホーム・桑の実

【概要】「入居者様の思いに寄り添い、笑顔溢れる施設にいたします。」施設理念とパーソンセンタードケアを念頭に置き、入居者の個別ケアを実践しました。入居者が地域の方々と共に楽しく生活できるように、地域との繋がりを大切に事業運営を行いました。また、各種研修会への参加や認知症の内部研修等により専門知識を深め、提供するサービスの質の向上に努めました。

【事業実績】

月	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	0	0	3	3	1	2	0	9	9
	回	0	0	90	90	30	60	0	270	270
5	人	0	0	3	3	1	2	0	9	9
	回	0	0	93	93	31	62	0	279	279
6	人	0	0	3	3	1	2	0	9	9
	回	0	0	90	90	30	60	0	270	270
7	人	0	0	3	3	1	2	0	9	9
	回	0	0	79	93	31	62	0	265	265
8	人	0	0	3	3	1	2	0	9	9
	回	0	0	81	92	31	62	0	266	266
9	人	0	0	2	3	1	3	0	9	9
	回	0	0	60	90	30	79	0	259	259
10	人	0	0	2	3	1	2	1	9	9
	回	0	0	62	93	31	62	31	279	279
11	人	0	0	2	3	1	2	1	9	9
	回	0	0	60	90	30	60	30	270	270
12	人	0	0	3	3	1	2	1	10	10
	回	0	0	67	93	7	62	31	260	260
1	人	0	0	3	3	0	1	2	9	9
	回	0	0	91	93	0	31	62	277	277
2	人	0	0	3	3	0	1	2	9	9
	回	0	0	84	84	0	28	56	252	252
3	人	0	0	3	3	0	1	2	9	9
	回	0	0	93	93	0	31	62	279	279
計	人	0	0	33	36	9	22	9	109	109
	回	0	0	950	1,094	251	659	272	3,226	3,226
前年度	人	0	0	42	27	14	22	0	105	105
	回	0	0	1,266	769	421	661	0	3,117	3,117

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
4月26日	第1回運営推進会議	桑の実ホール
6月14日 (2日間)	防火管理者研修	本吉公民館
6月21日	認知症研修	ワンテン庁舎2F
6月29日	自衛消防訓練 (総合訓練)	桑の実
6月29日	第2回運営推進会議	桑の実ホール
7月11日	防災研修	市民福祉センター
7月23日	成年後見制度研修	ワンテン庁舎2F
8月23日 (5日間)	宮城県認知症介護実践者研修 (第2期)	鹿島台研修センター
8月29日	介護サービスの質の向上に関する市町村担当者事業所管理者研	泉文化創造センター
9月14日	介護サービス事業者集団指導	ワンテン庁舎2F
9月15日	口腔ケア研修	ワンテン庁舎2F
9月27日	第3回運営推進会議	桑の実ホール
10月2日 (9日間)	宮城県認知症介護実践リーダー研修 (第2期)	鹿島台研修センター
10月9日	若年性認知症自立支援研修会	保健福祉事務所
10月12日	唐桑地域多職種連絡会「包括ケア研修」	燦さん館
10月19日	通所事業所等職員研修 (レクリエーション研修)	ワンテン庁舎2F
10月28日	第4回運営推進会議	桑の実ホール
11月15日	宮城県グループホーム協議会災害想定模擬訓練	G Hポラーノの杜
11月16日	自衛消防訓練 (総合訓練) (防火管理者協会事業所指定訓練)	からくわ荘
11月16日	保健・医療・福祉系職員等スキルアップ研修 (感染症)	すこやか
12月10日	第2回気仙沼市権利擁護研修会	市民福祉センター
12月13日	気仙沼市ケアマネジャー協会気仙沼支部多職種連携研修会	燦さん館
1月31日	第5回運営推進会議	桑の実ホール
2月1日	気仙沼市医療・介護連携センター主催研修会 (地域作りと介護予防)	市民福祉センター
3月12日	難病患者支援者研修会 (生活支援・神経難病の特徴とその経過)	保健福祉事務所
3月24日	オレンジサポーター「絵本の読み聞かせ講座」	気仙沼児童センター
3月27日	第6回運営推進会議	桑の実ホール

- ※ スタッフ・ケア会議 毎月定期開催 (桑の実相談室)
 ※ 唐桑支所管理者会議 毎月定期開催 (唐桑支所会議室)
 ※ 事故防止対策委員会 毎月定期開催 (杜協本所会議室)

【成果】各種研修や認知症の内部研修により専門的知識を習得し、入居者への理解をより深めることができました。入居者の思いを理解し、意思を確認し、自身の行動を選択し実行していただくことで充実した生活が送られ、入居者の生活により影響が見られるようになりました。
(平成30年度 介護報酬目標達成度101% 前年度94%)

【課題】地域密着型施設としての役割を再度認識し、地域住民の方々やボランティア団体との連携をより充実させ、地域に根ざした施設づくりを考えています。また、健全な事業運営を目指し、更に業務の効率化を図ることが必要です。

【今後の取組】地域の行事に積極的に参加し、地域社会と関わる機会を増やします。また、今後も各種研修等に参加し、職員の資質向上に努めます。

【決算】事業活動収入	35,762,570円	事業活動支出	41,988,234円
その他の活動収入	7,000,000円	その他の活動による支出	1,449,648円
(運用基金事業からの繰入)		当期資金収支差額	－675,312円
		(前期末支払資金残高から充当)	